

contents

- 海外展開の拡大に向けて
- 成功事例 (株) YOODS (山口市)
- 食品輸出事例 株式会社柚子屋本店 (山口県萩市)
- 釜山・青島派遣レポート
- ビジネスサポーター
- 山口県からのお知らせ
- 財団第1国際部・協会からのお知らせ

発行 (一財) 山口県国際総合センター
山口県日中経済交流促進協会
日本貿易振興機構(ジェトロ) 山口貿易情報センター

内容についてご意見、ご質問があれば、下記までお問い合わせ下さい。
(一財) 山口県国際総合センター
山口県下関市豊前田町3-3-1
TEL083(231)5778 FAX083(231)5787

メッセ海外通信

INTERNATIONAL NEWS

KAIKYO MESSE SHIMONOSEKI

(一財) 山口県国際総合センター・山口県日中経済交流促進協会・日本貿易振興機構(ジェトロ)山口貿易情報センター

MESSE

海外展開の拡大に向けて

海外展開に関する相談件数が増加

海外展開に関心を高めている山口県内企業が増加しています。2014年度（2014年4月～2015年3月）に、ジェトロ山口に寄せられた貿易・投資相談件数（全業種対象）は574件と、前年度の350件から6割以上（64%）増加しました。そのうちの約7割（389件、69.3%）は日本からの「輸出」に関連する内容で、前年の190件から倍増しました。輸出の次に多かったのは「海外投資」（64件）で、こちらも前年比60%増加しましたが、「輸出」が他を圧倒したことが見て取れます。

輸出に関連した相談件数を国・地域別の内訳で見ると、中国（75件、158.6%増）、台湾（41件、115.8%増）、米国（26件、73.3%増）、香港（22件、214.3%増）が大きく増加しました。東南アジアでは、インドネシアが前年の28件から12件へと大きく減少したものの、タイ（3件→14件）、ベトナム（2件→12件）は増加しました。タイ、ベトナムについては、「海外投資」に関する相談もそれぞれ11件（前年5件）、8件（同6件）と伸びています。

ジェトロ山口では、2015年度、県内企業の販路開拓を支援するために、山口県などが11月に中国山東省青島市で実施する貿易商談会の運営や参加事業者の出展等をサポートします。

また、山口県とインドネシア・ジャカルタ地域との環境分野での地域間交流を促進し、県内中小企業の販路開拓、技術導入、共同開発をするため、（公財）やまぐち産業振興財団などが8月に実施する現地商談会の開催などを支援していきます（ジェトロ地域間交流（RIT）事業）。

一方、農林水産物・食品分野では昨年度、台湾で開催された「山口の食と日本酒フェアin台湾」と同様、今年度も県、市、支援機関等と連携・協力して、海外での商談会の開催や海外事情等に関する県内でのセミナー開催、貿易・投資相談などを通じて、県内事業者を対象とする海外販路開拓の取り組みを引き続き進めて参ります。

海外・県外での機会のご活用も

世界的に日本の「食」に対するニーズが高まっています。2015年5月1日に開幕した「2015年ミラノ国際博覧会」は、「地球に食料を、生命エネルギーを」をテーマとしており、山口県は全国の自治体のトップを切って5月24日～27日に日本館に出展し、ふぐや日本酒、岩国寿司といった食文化や、萩焼や大内塗などの伝統工芸品等を紹介、来場者の高い関心を集めました。山口県産品の海外市場開拓に向けた機運の一層の高まりが期待されます。

一方、ジェトロでは、海外販路開拓に関心をお持ちの事業者向けに、海外で開催される有力見本市でのジャパン・パビリオンの設置や、海外での商談会の開催のほか、海外の輸入業者、卸売業者、小売業者などからバイヤーを日本に招聘して国内で商談会を開催するなどの事業を行っています。

ジェトロ本部が2014年度に実施した海外見本市、国内商談会への山口県内事業者の参加状況を見ると、例えば、農林水産・食品分野での海外見本市の場合、延べ736社の出展者のうち県内事業者は1社にとどまりました。一方、国内

で実施した海外バイヤーとの商談会には、延べ34社の県内事業者に参加いただきましたが、このうち28社は14年11月に下関市内で開催された商談会にご参加いただいた方々で、県外での商談会をご利用いただいている方は必ずしも多くありません。

ジェットロが海外や県外で実施しているこうした事業についても、是非ご活用いただきたいと思えます。誤解されている方も多いのですが、例えば、ジェットロが県外で開催する商談会やセミナーについては、特段の条件設定がない限り、県内の事業者にも参加いただけます。また、商談会への参加や海外バイヤーとの商談という経験があまりないが、今後海外販路の開拓にご関心があるという方向けに「商談スキルセ

ミナー」のほか、国別のマーケット事情、「HACCP」などの特定テーマを掲げるセミナー等も予定しています。事業参加の募集については、ジェットロのホームページで随時ご案内しています。また、農林水産・食品分野の事業予定表については、毎月更新（月末）していますのでご覧ください^(注1)。ご不明な点がございましたら、個別にご相談にのらせていただきますので、海外展開をお考えの事業者の皆様には、ジェットロを一層ご活用いただきますようお願い申し上げます。

(注1) http://www.jetro.go.jp/industry/foods/foods_schedule.html
(ジェットロ山口/所長 岩上 勝一)

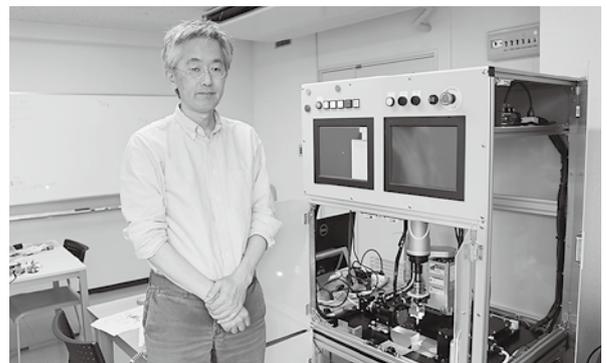
成功事例

(株)YOODS (山口市) 自社開発の2次元画像検査装置を台湾に輸出！

台湾から鈞永科技股份有限公司が来日

山口県は、2008年度よりジェットロのRIT事業を活用して、環境、機械と台湾との経済交流事業を継続してきた。2014年2月に同事業のフォローアップで訪台中、事務局メンバー（(公財)やまぐち産業振興財団、(地独)山口県産業技術センター、ジェットロ山口）より台北市の南山ロータリークラブ例会で、山口-台湾のRIT事業を紹介させていただく機会があった。同ロータリークラブのメンバーである鈞永科技股份有限公司の山川穰氏は、この時、事務局が紹介した(株)YOODSの精密機器検査装置に大変興味を持ち、その後、すぐに来日し、(株)YOODSを訪問している。これを受けて、(株)YOODSの原田寛社長は、6月に台湾を訪問。鈞永科技股份有限公司の製造するノートパソコン

のシャフトの検査装置の製造について相談を受けることになる。



(株)YOODS 原田寛社長
台湾に輸出する2次元画像装置と

台湾商談会に参加

(株)YOODSは、2014年10月に(公財)交流協会の「日台産業架け橋プロジェクト」にて、

台北で開催した商談会に参加し、新たな商談相手の発掘を試みると同時に、鈞永科技股份有限公司の製造現場を視察。シャフトの検査装置製造について意見交換を行った。帰国後は、台湾と山口に居ながら、Skypeで仕様検討会議を実施して、検査装置の仕様作成に取り組んだ。2015年1月末、(株)YOODSの原田社長は、台北での鈞永科技股份有限公司の春節（旧正月）の忘年会に招待され、日中は、仕事の話真剣に詰め、夜は宴会と終日お付き合いしながら、この時に正式に製造の注文を受けることとなった。

2次元画像検査装置の開発

正式発注から納品まで3カ月の納期で設計に着手して、検査装置の開発に取り組んできた。

短期間でゼロから装置を完成させなければならぬことが、懸念されたが、この6月には出荷できる目途がたったという。(株)YOODSが開発した2次元検査装置は、直径1.8mm、長さ30mmのシャフトを2次元カメラが全周検査することで、肉眼では判別しにくい傷や加工精度などを検査して、不良品を振り分けていくもの。台湾の鈞永科技股份有限公司では、現在は

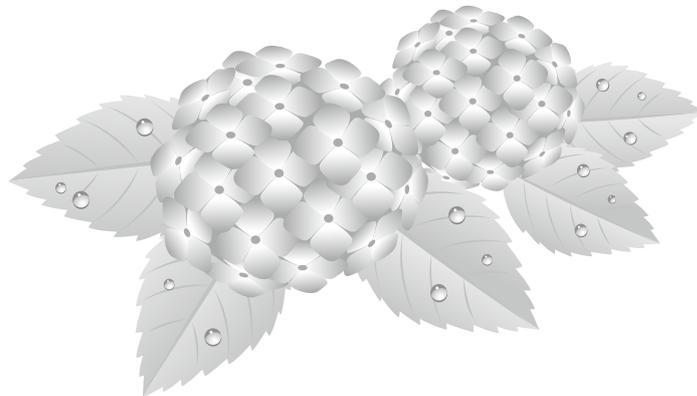
他社の画像検査システムで手動検査を行っているが、1日に大量の部品を自動検査できる装置を探していた。台湾域内にも2次元画像検査装置を製造するメーカーはあるものの、(株)YOODSの品質・技術力、対応のスピードの速さなどが受注の決め手だったという。原田社長は、鈞永科技股份有限公司の山川社長が日本人であることからコミュニケーションの問題がないなど、商談が進め易かったと話す。

輸出手続きにあたっては、安全保障貿易管理規制の確認、契約書の作成、為替リスクや取引通貨などジェットロ山口のアドバイザーも助言した。

新たな3次元画像検査装置をアジアへ

(株)YOODSの原田社長は、3年近い時間をかけて独自に開発した3次元検査装置を、近く発表する予定。自社で機械装置を製造し、東南アジアにも販路を持つ台湾の鈞永科技股份有限公司と提携し、今後は、新たに開発した3次元画像検査装置のアジア市場の販路を開拓していきたいという。

(ジェットロ山口／林 裕子)



食品輸出事例

株式会社柚子屋本店(山口県萩市)

(株) 柚子屋本店は、「産地の素材を生かした自然な味づくり」をモットーに1978年の創業以来、柚子果汁、柚子胡椒、夏みかんマーマレード、だいたいスライスなどの柑橘類加工製造販売を行っている。商品ラインナップは、現在50品目を超え、時代の流れに応じた商品の開発に力を入れてきた。

堅調な国内販売の一方で、海外市場に関心を持ち、同社は約8年前、海外バイヤーからの引き合いをきっかけに米国向けに柚子果汁の輸出を始めた。当初の輸出量はわずかであったが、近年の日本食ブームを背景に売上に占める海外比率は着実に伸び、2015年1月期の輸出高は約4,500万円と全売上高の15%を占めている。



パリ市内のデパートで販売 柚子屋本店の商品

海外ビジネスの成功要因を代表取締役社長金史一氏に聞くと、海外バイヤーへ積極的な売り込みと徹底した品質管理だと言う。同社はジェトロ山口が開催した「食品輸出商談会 in 下関」に2年連続参加しており、2014年にフランスバイヤーと成約、2015年にはマレーシア

バイヤーとの成約に至った。その他中国山東省での商談会、幕張でのFOODEX JAPANに参加するなどジェトロの主催する商談会を積極的に活用することで海外販路を広げている。



厳しい品質管理のもと製造

品質管理については、海外戦略の一環として、食品安全の国際標準規格であるISO22000を取得した。海外のバイヤーは日本食の品質・安全性を高く評価しており、商談では品質について必ず説明を求められる。ライセンスを取得していることで、商談は有利にはたらくことが多い。また、原料の柚子・夏みかんは主に地元の契約農家や自社農園で採れたものを使用し、化学調味料や食品添加物は一切使わない商品を作っている。こうした食の安全への取り組みが輸出を成功させた要因にもなっているようだ。

今後はアジアの新興国という大きな市場をターゲットに見据え、3年後までに輸出の占める割合を30%に伸ばすことを目標としている。

(ジェトロ山口/内山 佳世子)

釜山・青島派遣レポート

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)

主査 大江 敏彦

釜山で気軽にサイクリング 釜山の自転車事情

韓国は日本と似ているようで違うと言われることがありますが、近所をサイクリングしていても、ちょっとした違いが感じられます。

まず、走っている自転車の種類が違います。韓国ではマウンテンバイクや、タイヤが細身のスポーツタイプの高級車が多く、私を下関から持参して乗っているシティーサイクル（ママチャリ）のような「前かご」をつけている自転車を、ほとんど見かけることがありません。もしかすると、ママチャリは周りからすれば少々浮いた存在の「外車」で、かなり野暮ったく見られているのかもしれませんが。

もともと韓国では、自転車がそれほど普及していませんでしたが、近年の健康志向の高まりにより、スポーツやレジャー、あるいはファッションのツールとして普及していったため、スポーツタイプの自転車が多いという背景があるようです。そのため、本格的なサイクルスーツや登山用ウェアに身を包み、流線型の自転車用ヘルメットをかぶって運転している人を多く見かけます。特に、釜山の場合は、坂が多いという地形的な条件をはじめ、市街地や町内の歩道は、路面の状態が良くないところが多く走りにくいという事情があったため、ママチャリが普及しなかったのかもしれませんが。



△駐輪場。スポーツタイプの自転車が圧倒的に多い。

また、演歌のような音楽を大音量で流しながらサイクリングを楽しむ年配者がいることにも驚きます。サイクリングだけでなくウォーキングの時にも、腰にぶら下げたスマートフォンからイヤホンなしで音楽を聴きながら歩く姿は、日本ではあまり見かけることがありません。

釜山広域市の自転車に対する施策として、河川敷や海岸沿いの眺めの良いところを中心に自転車専

用道が整備されており、歩道への自転車道の標示も幹線道路や通学路を中心に行われています。また、地下鉄駅などの交通の要所を中心に駐輪所が整備され、無料で利用できるレンタサイクルの貸出所が市内に14か所（2014年6月現在）設置されています。

このように自転車道が整備された釜山へ「サイクリング旅行」に訪れるのはいかがでしょうか。フェリーを利用すれば、日本から自分の自転車を持ち込むこともできますし、釜山の地下鉄は、自転車の乗り入れが可能（土日祝日のみ）なので、楽に移動することができます。また、日本の旅行代理店からツアー商品も出ているそうなので、それを利用するのもいいかもしれません。ただ、自転車道が整備されているとはいえ、自転車の運転マナーも、自動車同様、日本に比べてとても荒く感じます。走行の際には、歩行者への配慮など、交通事故に十分に気を付けて楽しんでください。



△歩道兼自転車道。自転車道は、カラー舗装で整備されている。



△河川敷に整備された自転車道。

下関市総合政策部国際課
（青島市派遣職員）

主任 木下清治

青島のタクシー事情

タクシーは、どの国・どの街にいても走っており、人々の大切な交通手段の一つになっていますが、国・地域によって料金、利用方法、習慣などが異なります。

青島のタクシーは、最近キレイなものが増えてきたとはいえ、まだまだ日本では考えられないほど古く、高速道路を走ると、車体がガタガタと揺れ、とても怖くなる時もあります。また、車の中もゴミが散らかっていたり、ホコリが多かったり、汚いことが多く、シートベルトをすると服が汚れることもあります。

乗車する際は、一般的に公道を走っているタクシーを手を挙げて止めますが、駅、空港、ホテルなどでは客待ちしているタクシーもあります。最近では、携帯アプリで、タクシーを呼ぶことが一般的になっています。利用者は、「お客様版」アプリをスマートフォンにダウンロードし、GPSや音声によって、自分の位置と目的地を近隣の運転手（タクシー会社間の隔てはなく、「運転手版」アプリを

ダウンロードしている全運転手を対象)に一斉に伝え、運転手は、早い者勝ちで利用者からの呼び出しに答えます。もし、タクシーがなかなか捕まらない場合には、利用者側から3元・5元・10元とインセンティブを提示することもできます。また、お金の支払い方、タクシーの予約、車輻のタイプなども選択できます。マッチングが成功すると、利用者のもとへはタクシーのナンバーなどの情報が、運転手のもとには利用者の電話番号などの情報が発信されます。このアプリが登場するまでは、配車センターに電話をかけていたようですが、今ではアプリを利用する人ばかりです。青島でこのアプリを利用していないタクシーは見たことがありません。しかし、逆に言えばアプリを利用しなければ、タクシーを捕まえることが難しくなっています。

タクシー料金の計算方法は、日本と同様で、距離と時間によって料金が加算されますが、タクシーの初乗り料金は9元(約180円)のものと、12元(約240円)のものがあります。12元のものの方が多少キレイで中が広いようですが、料金も12元のものの方が早く上がっていきます。

中国では、タクシーに乗る際も日本とは少し違います。自動でドアが開くタクシーはありませんし、一人で乗るときは助手席に座ることも多いです。また、一般的に青島のタクシードライバーは、日本ほど接客がしっかりしているとは言えません。制服をきちんと着ていなかったり、運転中にタバコを吸いだしたり、携帯電話で話したりなど…。さらには、標準語を話せるドライバーが少ないので、会話を成立させるのに苦労する場合があります。



青島のタクシーの様子

😊 山口県からのお知らせ 😊

皆様の海外展開をサポートします！



県新産業振興課では、海外ビジネス研究会を主宰するとともに、山口県国際総合センター、やまぐち産業振興財団、ジェットロ山口貿易情報センター、山口県日中経済交流促進協会などの関係機関と連携して皆様の海外展開を応援しています！

11月に開催する山東省商談会への参加企業を募集中です！（〆切：7/17）

【お問合せ先】山口県新産業振興課（TEL：083-933-3140）

海外展開についてのゼロからの検討、初期段階のご相談は下記までどうぞ！
経験豊かなアドバイザーが御社と一緒に考えて考え、アドバイスいたします。

山口県国際総合センター第2国際部（TEL：083-231-5778、
E-mail：tsuyoshi.fukano@kaikyomesse.jp）

海外展開に関する最新情報をフェイスブックで配信中！
右のQRコードまたは
<https://www.facebook.com/kaigai.pref.yamaguchi/>から
アクセスしてご覧ください！



財団第1国際部・協会の活動について

(一財)山口県国際総合センター第1国際部は、国際経済交流の推進と地域産業の振興を図るため、関係機関・団体と連携して、県内企業の貿易取引・海外進出支援や人材育成等の事業を進めています。

山口県日中経済交流促進協会は、昭和56年(1981年)に地域レベルでの日中間の経済、貿易の交流を促進するため、山口県・県内市町及び主要経済団体より設立されました。以来、国内外の機関や団体と連携して、企業進出支援や現地での活動支援、経済や貿易・投資及び技術に関する相談や情報の提供等を行っています。

主な事業内容

・貿易相談・海外ビジネス支援

海外ビジネスサポーターや海外関係機関と連携し、貿易や海外進出を希望している企業に対して、海外企業との取引斡旋や紹介、企業進出を支援しています。

・海外ビジネスサポーターの配置

中国青島市及び香港に「海外ビジネスサポーター」を配置し、県内企業の現地での工場や事務所などの進出支援、ビジネスマッチングの支援、最新の市場動向などの提供、アポイントの調整等を中国国内で行っています。

・貿易等に携わる人材の育成と確保支援

講演会、セミナー等を開催し、貿易等に携わる人材の育成に努めています。

・経済交流団の派遣と受入

関係機関・経済団体等と協力して海外に経済視察団を派遣しています。また、海外からの訪日団を受入れ、商談の仲介や企業視察を行っています。

・その他

中国における円滑な企業活動を支援するため、山東省(青島市)に進出している山口県企業相互の意見交換会や、企業の活動状況や抱えている諸問題などについて中国政府関係機関との意見交換の場を提供するなど様々な事業を行っています。

海外ビジネスサポーターのご利用について

こんなときには、お気軽にご相談ください。

- ・中国の経済情報を入手したい
- ・中国企業と取引したい
- ・中国企業とコンタクトを取りたい
- ・中国企業と商談がしたい
- ・現地でのアポイントを取りたい
- ・中国市場における商品の売れ行きを知りたい
- ・中国への進出や取引についてのアドバイスがほしい
- ・人材の紹介 …etc

問い合わせ

下関市豊前田町三丁目3番1号 海峡メッセ下関

(一財)山口県国際総合センター第1国際部

TEL 083-231-5778 FAX 083-231-5787

山口県日中経済交流促進協会

TEL 083-231-5788 FAX 083-231-5796